

令和3年度 事業計画(案)

現在も続く新型コロナウイルス感染症の1日も早い収束やワクチンの接種が期待される一方で、今後もこのコロナウイルスと向き合いながらの観光振興が求められます。まずは、国内外の観光客が安心して観光地を周遊し、楽しむ事ができるよう感染拡大防止のための対策を徹底していきます。

北海道においては、安心安全な旅ができる北海道ならではの特性や良さを生かし、観光需要を喚起できる事業をしっかりと取り組んでいくことが重要であります。魅力のある観光地・まちづくりの取り組みが幅広く交流人口を生み、新しい戦略を展開できるチャンスに繋がるよう努力していきます。

本年度はいよいよ、8月には東京オリンピック・パラリンピック2020や9月にはアドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)2021が開催され、北海道における経済の回復に繋がるイベントのため、ピンチからチャンスへと大きく変わることを期待しております。

白老町としては、白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)とウポポイ(民族共生象徴空間)が一体感や連携を図ることにより、道の駅の登録を含めた周辺のニーズにあった施設整備の計画にも繋がってくるため継続的に要望を行っていきます。今後も関係機関との合意形成を図りながら、まちの舵取り役を担っていけるよう観光の景気回復を目指した観光復興のための事業を積極的に展開していきます。

このことから、本年度は、次の事業を重点目標として取り組みをいたします。

- 観光地域づくり法人(地域DMO)の本登録の実現に向けた多様な関係者との合意形成、専門人材の定着・確保、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略策定、その整合性に関する調整や仕組み作り、近隣市町村の広域連携や独自のプロモーション活動等を展開していきます。
- 白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)における指定管理業務を含めた自主事業や観光大型バス駐車場など新たな収益事業をはじめ、従来より行っている各種収益事業も含めて積極的に展開し、安定的な運営資金の確保を目指すとともに、ウポポイや地域との相乗効果を図り観光振興に努力していきます。
- 本格的な旅行業登録申請を目指し、地域における各事業者等と連携を図りながら、白老発の着地型旅行商品企画の造成をはじめ、体験メニューの構築、旅行等に関するコンシェルジュ機能を確立し、白老町ならではの豊かな食・観光資源・特産品等を活かした情報発信の拠点となるよう努力をしていきます。
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として、観光需要喚起に特化した中で短・中期的な支援策として「しらおい満喫割事業」、「観光賑わい創出事業」、「観光コンテンツ事業」等を白老町及び関係団体と連携を図りながら実施し、地域の活性化を図る効果的な事業を展開していきます。また、アフターコロナのインバウンド再開を見据えた、新たな観光振興資源(コンテンツ)の創出を図ることができる事業等に取り組んでいきます。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製、SNS等を活用した情報発信を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000 円
○旅行情報誌掲載事業	200,000 円
○各種観光事業集客広告事業	100,000 円
○誘導案内看板管理事業	133,000 円
○インターネット事業（国内・海外向け）	80,000 円
○ホームページ・SNSサイト管理事業（しらおいナビ）	600,000 円
○観光情報発信機能強化事業（ホームページリニューアル）	5,000,000 円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、北海道登別洞爺広域観光圏協議会、登別市白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成等の受入体制の整備、ウポポイ開業を契機とした相乗効果を目指した事業が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業	250,000 円
○虎杖浜温泉観光活性化事業	1,000,000 円

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	10,000 円
--------------------	----------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、白老駅北観光商業ゾーン（観光インフォメーションセンター）において新しい情報等を案内するとともに町内の各施設へ誘導するための事業を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第31回白老牛肉まつり（ドライブスルー）	6月	
○町内活性化イベント（ウポポイ開業1周年）	7月	100,000 円
○第9回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり	8月（予定）	
○2021 BikeJIN 祭り in 北海道@白老	9月（予定）	200,000 円
○第43回登別漁港まつり	9月（予定）	
○第32回しらおいチェブ祭	9月（予定）	

5. 収益事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する新たな収益事業の構築を中心とした事業を行います。また、各種収益事業において地域コーディネート機能の役割を中心とした職業体験や白老ねっと商店・ふるさと納税等販売を推進しながら、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと 2000 年の森管理業務（指定管理者 5 カ年）	10,801,000 円
○自転車・カヌー貸付事業	30,000 円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000 円
○ワカサギ釣り事業	962,000 円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）	50,000 円
○白老町ふるさと GENKI 応援寄附金事業（ふるさと納税）	70,000 円
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	10,000 円

6. 駅北観光商業ゾーン・観光大型バス駐車場事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）との相乗効果を図りながら、回遊性の向上を目指す拠点施設として、観光インフォメーションセンターの管理業務を取り組み、観光情報等や広域観光特産品販売等を展開し、地域の活性化に繋がるような事業を行い、更には安定的な観光大型バス駐車場事業を財源の基盤として、自主事業の拡大及び充実を図るために積極的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老駅北観光商業ゾーン管理業務（指定管理者 3 ヶ年）	72,398,000 円
○観光大型バス駐車場事業	14,044,000 円
○自動販売機設置事業	20,000 円
○手ぶら観光（手荷物一時預かり）・コインロッカー設置事業	100,000 円

7. 観光地域づくり法人（地域DMO）の本登録に向けた取り組み

本町の観光による地域づくりを推進するために観光地域づくり法人の本登録に向けた基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）を含めた登録要件を目指すともに、関係団体との合意形成を有効的に行いながら地域DMOを中核とした自主的な「稼ぐ力」の創出を図ります。

◇主な会議の概要

○白老まちづくりDMO戦略協議会（4 ヶ月 1 回開催）

8. そ の 他

◇取り組みの事業概要

○虎杖浜温泉観光活性化事業（虎杖浜竹浦観光連合会）	1,300,000 円
○観光資源推進活動調査費（DMO・旅行業等）	30,000 円
○白老バーガー&ベーグル研究会（事務局）	
○白老レンタサイクル運営協議会（シラヴェロ）	3,000 円
○白老おもてなしガイドセンター（事務局）	

○白老駅舎管理・清掃業務（委託事業）	4,243,140 円
○白老駅臨時改札業務（委託事業）	3,817,440 円
○しらおい満喫割事業（地方創生臨時交付金）	45,000,000 円
○観光賑わい創出事業（地方創生臨時交付金）	8,504,000 円
○観光コンテンツ事業（地方創生臨時交付金）	8,000,000 円

9. 会 議 等

- ◇主な会議の概要
- 通 常 総 会
 - 三 役 会
 - 理 事 会
 - 専 門 委 員 会（特 別 委 員 会）
 - 各所属団体会議